



泉屋博古館東京

SENJOKU  
HAKUKOKU  
MUSEUM  
TOKYO

生誕一五〇年記念

# 板谷波山の

# 陶芸

近代陶芸の巨匠、  
その麗しき作品と生涯

ITAYA Hazan: The 150th Anniversary of his Birth

2022 11 3 thu. (holiday) ..... 12 18 sun.

休館日 月曜日

開館時間 午前11時～午後6時\*金曜は午後7時まで開館(入館は閉館の30分前まで)  
入館料 一般1,200(1,000)円 高大生800(700)円 中学生以下無料

\*20名様以上の団体は( )内の割引料金

\*障がい者手帳等ご提示の方はご本人および同着者1名まで無料

主催 公益財団法人泉屋博古館、日本経済新聞社

特別協力 筑西市、公益財団法人波山先生記念会、廣澤美術館

企画協力 株式会社キョレイター

《彩繪草花文花瓶》大正後期 廣澤美術館蔵





近代陶芸の巨匠 板谷波山（本名・板谷嘉七）は、令和四年（二〇二二）三月三日、生誕一五〇年を迎えました。明治五年（一八七二）茨城県下館町（現・筑西市）に生まれた波山（一九六三）は、明治二十二年東京美術学校（現・東京藝術大学）彫刻科に入学、岡倉天心や高村光雲に師事しました。明治三十六年には東京・田端の地に移り、陶芸家「波山」として数々の名作を生みだします。昭和九年（一九三四）帝室技芸員に任命され、昭和二十八年には陶芸家初の文化勲章を受章しました。

波山は、理想の作品づくりのためには一切の妥協を許さず、端正で格調高い作品を数多く手がけました。代表作の一つ、重要文化財《葆光彩磁珍果文花瓶（ほこうさいじちんかもんかびん）》は、大正六年（一九一七）波山芸術を愛した住友春翠によって購入され、泉屋博古館東京に継承されています。

この記念すべき年に、選りすぐりの名作と共に、波山が愛した故郷への思いや人となりを示す貴重な資料、試行錯誤の末に破却された陶片の数々を通して、「陶聖」波山の様々な姿を紹介いたします。波山の作品に表現された美と祈りの世界に癒され、彼の優しさとユーモアにあふれた人生に触れるひと時をお楽しみください。

- A 《元禄美人》（卒業制作）  
明治十七年（一八九四） 東京藝術大学蔵
- B 《彩磁露葉文花瓶》  
明治四十四年（一九一七） 廣澤美術館蔵
- C 重要文化財《葆光彩磁珍果文花瓶》  
大正六年（一九一七） 泉屋博古館東京蔵
- D 《彩磁更紗花鳥文花瓶》  
大正八年（一九一九）頃 泉屋博古館東京蔵
- E 《彩磁菊花図額皿》  
明治四十四年（一九一七） しもだて美術館蔵
- F 《葆光彩磁葵模様鉢》 大正前期 個人蔵
- G 《天目茶碗》  
昭和十九年（一九四四） 筑西市（神林コレクション）蔵
- H 《彩磁珍果文香炉（火舎 北原千鹿）》  
大正十四年（一九二五） 廣澤美術館蔵



**会期中のイベント**（すべて要観覧券）  
会場：当館講堂／事前申込受付開始：10月14日（金）午前11時よりウェブサイトにて

■ 特別対談「板谷波山を語るー麗しき作品と生涯」（要事前申込）  
11月5日（土） 14時～15時  
【講師】板谷駿一氏（公益財団法人波山先生記念会理事長）  
荒川正明氏（本展監修者 学習院大学教授）

◆ 講演会「明治のデザインと板谷波山」（要事前申込）  
11月27日（日） 14時～15時  
【講師】森谷美保氏（美術史家）

◆ 講演会「陶磁器の修復（アトミエ・シリズ）」（要事前申込）  
12月2日（金） 17時30分～18時30分  
【講師】藪山浩司氏（美術古陶磁復元師）  
【聴講料】500円 ※ 展覧会をご覧になる場合は別途観覧料が必要になります。

● 学芸員のスライドトーク「コクテール・住友春翠と板谷波山」  
11月10日（木）、12日（土）、24日（木）、12月3日（土） 14時～15時  
泉屋博古館東京学芸員 森下愛子

◎各プログラムの詳細、お申込みについては当館ウェブサイトをご覧ください。  
◎新型コロナウイルス感染症予防拡散防止のため、予定を変更中止する場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイトを確認ください。

《泉屋博古館東京 年間パスポート》税込4,000円（東京館受付にて販売中）

購入日より1年間、泉屋博古館東京の展覧会に何度でもご入場いただけます。  
※記名のご本人様および同伴者1名も無料  
※泉屋博古館（京都 鹿ヶ谷）にも2割引料金でご入場いただけます。



**アクセス案内**  
●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅下車北改札正面 泉ガーデン1F出口より屋外エスカレーターで徒歩3分 ●日比谷線「神谷町」駅下車 4b出口より徒歩10分 ●銀座線・南北線「溜池山王」駅下車 13番出口より徒歩10分

〒106-0032 東京都港区六本木1丁目5番地1号  
TEL 050-5541-8600（ハローダイヤル）  
https://sen-oku.or.jp/tokyo/

泉屋博古館東京

SEN OKU MUSEUM TOKYO

